

イエシュアのいのち

2014年4月11日 アシエル・イントレーター



イザヤ 53 章に、苦難のしもべの「いのち」について3度述べられています。(この章の詩は大変美しく、同様にそのメッセージはとても深いのです):

10 節 - 「もし彼が、自分のいのちを罪過のためのいけにえとするなら」

イエシュアはご自身のいのちを罪の捧げ物とされました。私たちは神の前に罪ある者なのです。私たちは互いに非難し合い、私たちは自分を正当化します。それはあたかも、二人の人が論争している時、イエシュアがやってきて両者の責めを受けて、彼らに赦し、和解させようとするのです。

11 節- 「彼は、自分のいのちの激しい苦しみのあとを見て、満足する。」

イエシュアは人類の救いのために働き、労苦しました。これは困難で骨の折れるものでした。主は眠ることもできず、祈り、仕え、教え、そして癒やされました。主はご自身のいのちをかけて、大変な努力を払いましたが、それらは無駄骨のようにみえました。しかし、この預言の約束は、主の努力はすべて無駄にはならなかったことです。主の働きは目に見えて明かではありませんが、主は結果を見るでしょう。

12 節- 「彼が自分のいのちを死に明け渡し、そむいた人たちとともに数えられたからである。」

イエシュアはご自身のいのちを死にまで注ぎ出されました。この御言葉は、正義を要求する「目には目を、いのちにはいのちを」(出エジプト 23:23-24)というトーラーの御言葉と似ています。それは、主ご自身の血が私たちのために贖罪をするのではなく、血にあるいのちが贖うのです(レビ記 17:11)。主は主ご自身のいのちを捧げるところまで、私たちを愛して下さるのです(ヨハネ 13:1;15:13)。

時々、私たちはイエシュアのいのちの現実を完全に理解していません。主には思考、感情、望み、期待を持っておられました。主は人類(訳者加:が経験する)すべてのストレスや誘惑を経験されました。(マタイ 26:37-38;ルカ 4:2;ヨハネ 11:33-38;12:27)。主はご自身のいのちをすべて、私たちを救うために与えられました。私たちのいのちを捧げて、主に仕えようではありませんか。

私たち 忘れることができるのか

アリエル・ブルーメンソール

神はただお赦しになるだけでなく、主が贖罪を完成させるご自身の約束にはこの驚くべき事実が含まれます。イエシュアにあり、新約聖書にあり、神は完全に私たちの罪を忘れて下さるのです。

「わたしは彼らの咎を赦し、彼らの罪を二度と思い出さないからだ。」(エレミヤ 31:34)

使徒パウロはこのように、信者たちが「新しい創造」(2コリント5:17)であることを語る事ができるのです。それは、創造主は今や私たちは過去の罪を背負うことなく、私たちを新しい人として取り扱って下さるからです。

最近、私たちは 70 年の「聖書的な時の窓」について書きました。それは、私たちが第二次世界大戦(1945-2015)の終わりから近づいている年数です。戦時中の傷と記憶はまだ諸国間の関係に影響を及ぼしています。特にイスラエルとドイツ間、日本と東アジア諸国間において。しかし、主が「赦すことと忘れること」を望まれている時が私たちに近づいています。諸国と人々が未来に向かって前へ進み、過去ではなく「新しい創造」という土台に建てるようにするためです。

どれぐらい

毎年、イスラエルのホロコースト記憶日(今年は 4 月 28 日)に、国民は宣言しました。「決して赦すな、決して忘れるな!!」現代中国において、日本人に対する憎しみと赦さないことが、教育システムと国のアイデンティティーの土台となっています。新約聖書を信じるユダヤ人と中国人として、私たちは勇気を持って立ち上がり、この赦しの福音を宣言しなければなりません。たとえ、それが国のレベルであったとしてもです。どれぐらい私たちはこのように記憶するようになっていくのでしょうか。

70 年たち、主の憐れみと裁きの中で、被害国側が罪を赦さないことは、加害国によって彼らに害をなしたその罪よりも、はるかに大きな罪となっていくと私は思います。果たして私たちユダヤ人と中国人は赦すことができるのでしょうか、そして、ドイツと日本の罪を私たちから離す事ができるのでしょうか、「東が西と離れているように(詩篇 103:12)」。そして、それゆえ東と西両方の世界の諸国の運命を変える事ができるのでしょうか。

価値観の土台の崩壊

ロニ・リジュワン

イスラエル市民は最近、すべての面における倫理的そして霊的



価値観の崩壊がますます激しくなっているのに晒されています。平均的な市民はこれらの出来事に多かれ少なかれショックと戸惑いを感じています。とりわけ四つの分野が際立っています。

1. **政府汚職** - 今週、エフード・オルメルト前首相は賄賂と汚職の疑いで起訴されました。その他の有力な政府および経済界のリーダーからも同様に起訴されました。首相が起訴された時、私たちの社会について何と云うのでしょうか。
2. **性的な罪** - 12歳から15歳までの若い女の子たちへの集団強姦や売春の強要について、衝撃的な報道がありました。社会の良心はそのような卑猥さ、ポルノ、そして売春によって歪められてしまいました。
3. **イスラムによる暴力** - 周辺の多くのイスラム教国で、理解しがたい暴力が続いています。シリアにいるクリスチャンらはイスラム教徒によって殺され、シーア派とスンニ派のイスラム教徒は数千人単位で互いに殺し合っています。ガザでの集団デモはイスラエルの滅亡を叫び続けています。
4. **宗教の偽善** - 数千人の超正統派ユダヤ人(ハレディム)は、その他全員の市民たちに課せられた軍役につくこと、または基本的な市民、そして経済的な負担を追う事に反対するために、イスラエル政府にデモ活動を続けています。実際には、彼らは、自分たちが神を代表している、という事により、信仰の基本的な問題に対する混乱の波を引き起こしています。

どうかこれら困難な出来事について、中東にいる人々、すなわちユダヤ人とアラブ人、宗教的、そして世俗的、共に新しい答え、真の信仰、そして真実な価値観を求める叫びを起こさせる事となりますよう、祈りに加わって下さい。霊的そして倫理的な激変が起こります。それが結果として救いにつながることを、信じましょう。

律法と恵み

このメッセージで、アシェルは、律法、預言書と新約聖書の元の意味へ回復させることについて語っています。英語で動画を観る場合、こちらを[クリック](#)して下さい。

